

令和6年度 主任相談支援部会 活動報告

1) 部会内容

事務局	大和高田市
参加者	部会長/大竹（もちつもたれつ）、副部会長/鎌田（なつつ）阪本（圏域M）、高橋（葛城社協）、秋本（ふわら）、西田（柊の郷）、矢部（青垣園）、撫養（ひまわり学園）、西口、寺元（大和高田市）、（順不同）
開催頻度	偶数月の第4木曜日、10：00～12：00

2) 部会の目的

主任相談支援専門員には地域における中核的な役割が求められている。その中でも主任相談支援専門員は相談支援専門員に対して、地域づくり、人材育成、困難事例への対応、権利擁護・虐待防止、などの総合的でかつ適切な利用支援そして援助技術の向上を目的とした指導や助言を行う役割が重要とされている。主任相談支援専門員が求められている役割を果たすために、主任相談支援部会では福祉サービスや自立支援協議会の評価や提言、相談支援体制の整備・強化や人材育成を目的とした活動を行う。

3) 年間スケジュール、実施内容

開催日	内容
第1回（令和6年4月25日）	①主任相談支援部会の取り組みの確認
第2回（令和6年6月27日）	①相談支援初任者研修の企画、②協議会の取組、評価について
第3回（令和6年8月22日）	①就業・生活支援センターたいよう/村上センター長より事業評価について報告 ②相談支援初任者研修の企画検討 ③各地域の福祉計画の共有
9月12日	「松山市の相談支援体制について」 講師：松山市障がい者南部相談支援センター藤本所長
10月9日、10月11日	相談支援初任者研修
第4回（令和6年10月24日）	①相談支援初任者研修の振り返り、②下半期の主任相談支援部会の活動について検討
第5回（令和6年12月26日）	①地域評価、事業所評価の検討、②研修企画
第6回（令和7年2月27日）	①地域評価、事業所評価の検討、②研修企画 ③次年度の取り組みについて

4) 活動のまとめ

福祉サービスや自立支援協議会の評価や提言、相談支援体制の整備・強化や人材育成を目的に今年度は計6回（プラス相談支援初任者研修の受け入れ）を実施した。前半は主に相談支援初任者研修（以下、初任者研修）の受け入れの準備に多くの時間を費やした。10月に実施した初任者研修では、受講生の作成した事例に対しての助言を行った。事例への助言が目的の主だったが、主任相談員と受講生との繋がりを作る場にはなった。今後もこのような形での実習の受け入れが望ましいこと、また研修以外の場で受講生と継続して繋がる場が必要である。

後半では地域、福祉サービスの評価システムについて検討した。具体的な評価システムは完成していないが、各主任相談員が、自分たちの活動する地域を知るきっかけにはなり、また他の相談員と共有することで自分たちの地域の強みや、足りない点を確認する場とはなった。

主任相談支援部会として1年実施し、手探りな点はあったが、各主任が同じ目的や視点をもって地域の人材、資源を考えていく場は継続して必要だと考えられる。2025年度も継続して、主任相談支援部会を実施し、障害福祉の活性化を図っていききたい。